

愛車協だより1月号

年 頭 の 挨拶

平成27年 1月10日 発行
愛知県自動車車体整備 協同組合
発行責任者: 諸戸 行雄

愛知県自動車車体整備協同組合 理事長 加藤 隆明

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

昨年末の総選挙で与党の大勝利に引き続きアベノミクスが継承されることになりました。

現政権となり2年余り経ち、我が国経済は円安、株高が進みデフレ脱却へと長期景気低迷から幾分回復の兆しが見え始めたところです。しかし、私達自動車車体整備事業に上向き傾向がいつ現れるのか依然として先行き不透明感が広がっており、経営は厳しさが続くのではないかと考えております。

昨年4月時点の自動車保有台数は前年より増加し、軽自動車を含め初めて8千万台を超えました。乗用車及び貨物車は減少しましたが、軽自動車が増加のけん引役となりました。平均使用年数では、自動車の長期使用化が進んでおります。エコカーの増加状況は、PHVを含むハイブリッド車の保有台数は前年より、34%増加し、電気自動車は54%と大きく増加しています。ハイブリッド車、電気自動車、衝突被害軽減ブレーキ、横滑り防止装置等々と次々と盛り込まれる新技術に整備の現場でも対応が迫られております。ボディも超高張力鋼板やアルミ等の新素材採用が急速に進んでおり、これらの修理には高い技術力はもちろんのこと、スキャンツール（外部故障診断機）なくしては整備に対応できないという意識が広がっており、スキャンツールの活用や新しい溶接機等の機器の導入が急務となっています。

車体整備需要の面では、損保会社による全損扱いが増加、その反面、ディーラーの内製化や異業種からの進出もあって競争は一層激しさを増すことが予想され、まさしく各事業場の真価が問われる時代となってまいりました。

また、自動車保険制度の改定による「事故有係数」が導入されて2年余り経過し、保険を利用しないで修理を求めるユーザーが増加しつつあると聞き及んでおります。これを生かすためにも、直接受注が重要であり車体整備事業にとって大きなビジネスチャンスととらえて、一方的に悲観論に走ることなく、ユーザーニーズに適切に対応することで信頼を高め、活路を切り開いていくことが重要だと思っております。

さて、労働安全衛生法の関係法令が3年前から改正され、特定化学物質の規制対象物質が順次追加となり施行・適用されています。毎年義務化等新たに適用される項目がありますので、十分関心を持って法令遵守に努めて頂きたいと思っております。

ご承知のとおり、日本自動車車体整備協同組合連合会は、修理車両の安全確保の観点において、車体整備事業の認証制度化の必要性を訴えており、同時に車体整備業界の地位向上にもつながる認証制度実現に引き続き期待を寄せるところです。その意味では、「第1回車体整備事業の高度化・活性化に向けた勉強会」が、昨年11月に国交省会議室において、開催された意義は大きく一歩前進したと確信いたします。

厳しい景気情勢等により当組合も組合員の減少が続いておりますが、本年からホームページを刷新し教育・経済・情報提供等組合員にとって魅力ある事業を積極的に推進し、組合員の増強に力を入れてまいります。

とくに支部活動の活性化、教育・事業委員会と特認・推奨・青年各部会との連携を一段と密にすることにより、組合基盤を一層強固にしていきたいと思います。

組合員の皆様のますますの発展を祈念するとともに、今後も組合員各位の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

加藤和元 教育委員長の決意

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は教育委員会として、有償運送許可、乾燥設備作業主任者講習会など開催して参りました。多数の参加を頂き、その必要性を感じました。今年も、教育委員会では、車体整備士を始めとする資格取得講習会を積極的に開催し、コンプライアンスを厳守する事によって、会員工場が成熟していく様子を皆様と感じ合いたいと考えております。各会員工場の成長が、組合活動の活発化させ、業界の地位向上に繋がっていく事を信じて今年も活動に力を入れて行きたいと思っております。本年もご協力よろしくお願い致します。

関戸孝明 青年部長の抱負

新年あけましておめでとうございます。

組合員、賛助会員の皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。

あわせて去年中に賜りましたご支援、ご協力には厚くお礼申し上げます。

去年の4月に水野部前会長よりバトンを引継ぎ青年部の舵取りを任される中、我々に必要な『技術』『見積り』『雇用』『資格』の4つを柱に『原点回帰すべては基本から』というスローガンのもと活動して参りました。

各会員が原点に戻り諸先輩方から学んだことや教えて頂いたことをもう一度真剣に見直し青年部会員全員が学ぶ姿勢を忘れずに常にチャレンジ精神を持ってお互いに刺激し合える会にしていきたいと思っております。

青年部はこれからも愛車協の活動に活力を与え、元気な組合づくりを実現するために、日々邁進してまいる所存です。

最後になりましたが、引き続き青年部活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



日車協連「馬場会長」の解任、「福本新会長」の就任

昨年12月10日に開催されました日車協連第157回理事会において、加藤理事（愛車協理事長）から提案されました第一号議案「馬場会長の解任について」審議され、解任について可決されました。第二号議案で新たに福本昇氏が会長に就任されました。

整備士養成講習会の開催アンケート結果

教育委員会が昨年12月に実施しました「27年度車体整備士及び2級シャシ整備士養成講習会の開催について」のアンケートにご協力ありがとうございました。

結果は、以下のとおりです。来年度の整備士養成講習会が危ぶまれます。

- * アンケート回収率 → → → 16% (25 ÷ 151 ÷ 0.16)
- * 車体整備士養成講習会希望予定者数 → → → 9名
- * 2級シャシ養成講習会希望予定者数 → → → 6名



新年のつぶやき (^o^)

岡崎のある組合員事業場では、朝礼時に担当者が「おはようございます」と言うと、他の従業員も「おはようございます」と答えるそうです。うーん☆ これぞ ☆「こだま連呼」。

「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」等々10分程「こだま」するそうです。皆さまの気持ちが一体となり、お客様に対しても自然と大きな声で挨拶もでき、新年早々清々しい職場環境と感嘆しました。本年もよろしくお祈りします。 (^o^) (y. m)